

先日1月14日(土)、15日(日)共通テストが行われました。初日は雨の中、開門を待ちました。気温は高めだったので寒くはありませんでしたが、傘をさして、受験票を見せて入場するため時間がかかりました。2日目は曇りの天候で、基礎理科を受験する文系生徒は前日と同じ時間帯に門をくぐっていきました。コロナ禍であり、陽性者や濃厚接触者が出るのではと気にしていましたが、幸いにも本校では追加試験受験者は出ませんでした。現在、三者面談も終わりに近づいており、国公立大学の前・中・後期の出願校がほぼ決定しました。2月3日が出願締切です。国公立大学の中には、入学辞退率が高い大学がありますので、中期、後期までしっかり粘ってほしいです。1、2年生のみなさんも今年の動きを通して、受験のシステムを理解しておきましょう。



三谷校長激励 (オンライン)
1月13日



会場の下関市立大学正門
1月14日



受験票を見せて会場へ
1月14日



開門を待つ受験生
1月15日

○本校の「令和5年度大学入学共通テスト」受験者数

受験者総数126名(5教科83名、4教科12名、3教科以下31名/出願者145名/3年生生徒数173名)の内、5教科合計が900点となる文系6教科7科目受験者は19名、理系5教科7科目受験者は45名でした。今年5教科全ての900点換算を受験した生徒が、昨年より文系8名→19名、理系27名→45名と全体合計数35名→64名と増加しています。5教科でも数学は1科目のみや4教科以下の受験者が多いので、可能性を高めるため、頑張って最後まで全ての科目を受験してほしいと思います。

全国の高校3年生の生徒数が減少する中、国公立大学の定数はほとんど減少していないので、以前より国公立大学を狙いやすくなっています。また、国立大学の入学辞退率を考えると、後期まで頑張っておくと合格が無い込むことも考えられます。科目削減は楽になるように思えますが、合格を勝ち取るには5教科受験が賢明です。コロナ禍もあり、遠方への進学は敬遠されていますが、科目数の少ない下関市立大学や北九州市立大学には、出願が集中する状況になっています。また、推薦入学(共通テストを課す、課さない)の枠が増えていることから、国公立大学を狙える力をつけてほしいですし、最後まで受験勉強を続けてほしいです。

近隣国立大学の辞退率

(入学辞退者数÷最終合格者数(当初合格者数に追加合格者数を加えたもの)) 2022年度(一般選抜)
 山口大学: 募集人員1489人/最終合格者数1774人/入学辞退者数230人/入学辞退率13.0%
 佐賀大学: 募集人員938人/最終合格者数1132人/入学辞退者数150人/入学辞退率13.3%
 大分大学: 募集人員799人/最終合格者数890人/入学辞退者数90人/入学辞退率10.1%
 宮崎大学: 募集人員815人/最終合格者数1007人/入学辞退者数144人/入学辞退率14.3%

○本校の平均点と全国平均点

英語R42.3(124人)、英語L49.0(124人)、国語95.5(122人)、数学I A45.1(92人)、数学II B49.6(72人)、日本史B50.0(32人)、地理B46.6(69人)、現社53.8(18人)、政経47.9(51人)、物理43.1(35人)、化学34.2(41人)、生物26.9(14人)、物理基礎19.2(6人)、化学基礎20.9(21人)、生物基礎19.5(40人)、地学基礎29.7(29人) [() 本校受験者数 受験者5人未満は省略]

大学入試センターによる全国平均(中間集計1/18) 得点調整前 2022年度→2023年度(変化の大きいもの)
 英語R61.8→55.07、英語L59.5→63.04、国語110→105.17、数学I A38.0→58.08、数学II B43.1→64.86、世界史B60.08、日本史B52.8→61.06、地理B59.0→62.23、現社61.61、政経56.8→52.39、物理60.7→64.46、化学47.6→49.95、生物48.8→40.55、物理基礎29.37、化学基礎30.61、生物基礎25.69、地学基礎36.21 英語R、国語、政経、生物の下降が目立ち、日本史B、数学は大きく上昇しました。

○専門理科で得点調整発生

専門理科において物理と生物との間で平均点20点以上の差がついたため、得点調整が行われました(地学は受験者が少ないため対象外)。物理はそのまま、生物は作問・解答ミスがあったことから、素点の2割以上の上昇となりました。化学も若干上昇しました(調整については裏面をみてください)。医歯薬系と農学部に影響があると思われます。本校生徒では生物受験者は14名で、判定には影響は少ないと考えられます。理系は2次力での勝負です。英語、数学、理科でどれだけ得点できるかが鍵となります。

○ 「大学入学共通テスト模試・2月（進研マーク）」（2年生全員受験）

日程・時間割について * 2年生初めてのマーク模試です。鉛筆、腕時計などを用意しましょう。

2月3日（金）

15:30～16:30 文系：地歴1科目め（来年度履修科目）、理系：化学

16:35～17:35 文系：公民（現代社会）、理系：物理または生物または基礎2科目

2月4日（土）

8:30～ 8:45 出席確認、受験カード記入

8:50～10:10 国語（80分）

10:20～11:30 数学①（70分）

11:40～12:40 数学②（60分）

12:40～13:20 昼休み 受験カード完成 13:20 カード回収

13:25～14:45 英語（筆記）（80分）

14:55～15:25 英語（リスニング）（30分）

15:35～16:35 文系：理科①（基礎2科目） 理系：地理B（60分）

16:35～ 解答配付（自己採点は自宅で行い、2月6日（月）朝全員提出すること）

○ 得点換算表

令和5年度大学入学共通テスト（本試験）

理科②換算表

1 例えば「化学」の結果が50点であれば、「素点」の50の行の「化学」の列のマスにある57が調整後の「化学」の得点となります。

また、「生物」の結果が60点であれば、「素点」の60の行の「生物」の列のマスにある72が調整後の「生物」の得点となります。

2 「地学」は、受験者数が1万人未満のため、得点調整の対象としません。（『受験案内』52ページ）

素点	物理	化学	生物	素点	物理	化学	生物	素点	物理	化学	生物
0	0	0	0	34	34	39	43	68	68	75	78
1	1	1	1	35	35	40	44	69	69	75	79
2	2	2	2	36	36	42	46	70	70	76	80
3	3	3	3	37	37	43	47	71	71	77	81
4	4	4	4	38	38	44	48	72	72	78	82
5	5	5	5	39	39	45	50	73	73	79	82
6	6	6	6	40	40	46	51	74	74	80	83
7	7	7	7	41	41	47	52	75	75	81	84
8	8	8	8	42	42	49	53	76	76	82	84
9	9	9	9	43	43	50	55	77	77	83	85
10	10	10	10	44	44	51	56	78	78	84	86
11	11	11	12	45	45	52	57	79	79	84	87
12	12	12	13	46	46	53	58	80	80	85	87
13	13	14	14	47	47	54	59	81	81	86	88
14	14	15	15	48	48	55	60	82	82	87	88
15	15	16	16	49	49	56	61	83	83	88	89
16	16	17	17	50	50	57	62	84	84	88	90
17	17	18	19	51	51	58	63	85	85	89	90
18	18	19	20	52	52	59	64	86	86	90	91
19	19	21	21	53	53	60	65	87	87	91	92
20	20	22	23	54	54	61	66	88	88	92	92
21	21	23	24	55	55	62	67	89	89	93	93
22	22	24	25	56	56	63	68	90	90	93	94
23	23	26	27	57	57	64	69	91	91	94	94
24	24	27	28	58	58	65	70	92	92	95	95
25	25	28	30	59	59	66	71	93	93	95	96
26	26	29	31	60	60	67	72	94	94	96	96
27	27	31	32	61	61	68	73	95	95	97	97
28	28	32	34	62	62	69	73	96	96	97	97
29	29	33	35	63	63	70	74	97	97	98	98
30	30	34	37	64	64	71	75	98	98	99	99
31	31	36	38	65	65	72	76	99	99	99	99
32	32	37	40	66	66	73	77	100	100	100	100
33	33	38	41	67	67	74	78				

終わりに

4月から進路資料室に「日経」新聞を置いてもうじき1年近くになります。皆さん、一度はめくってくださったでしょうか。小論文対策として、時事問題に関心をもっておくのは大切なことです。実際に紙面をめくすることで、見出しだけでも目に入ることを期待して置いています。動画やSNSのほうが続けられるし、今風なのでしょうが、新聞を読んでほしいのです。気になった記事をじっくり読んでほしい。また、気になった語句を調べることもしてほしい。最近の推薦入試では、高校時代に部活動以外で頑張ったことを聞いてきます。何かに興味を持ち、調べてみたことが大切な取組になってきています。面接でしゃべるネタにもなります。（文責木嶋）

